

地上デジタル放送波を活用した避難者情報伝達手段の実証実験

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社

- ◎みちびきの衛星安否確認サービス(Q-ANPI)で収集された情報を災害時に比較的強いとされる地上デジタル放送で配信することで、緊急時に途絶しがちな地上の通信網に頼らず、確実かつ簡単に家族の安否情報を確認する方法の確立を目指す。
- ◎テレビにリモコンで個人に紐づいた番号を入力し安否状況を地上デジタル放送で確認することが出来るシステムを構築し、実用性検証を実施。
- ◎Q-ANPI端末に登録した安否情報が地上デジタル放送のデータ放送として視聴者に届けられるか実証を行い、テレビで安否状況を見られることが確認できた。また仮想サーバ上の1500万人分の安否情報データが想定時間内にテレビまで届けられるかの実証や、リモコンなしでテレビへの検索情報の入力を行ったりQ-ANPI端末に安否情報を登録できるスマートフォンアプリも開発。又、江戸川区役所職員の防災訓練でデモを行い防災課の方から実際に使ってみたいなどの声をいただいた。
- ◎今後は実導入に備え、緊急時に使用するデータ放送帯域の柔軟な運用、各種サーバーのパフォーマンスの改善を図ること等により、より即時性の高い避難情報の配信に向けた各種チューニングを継続して実施していく。
- ◎又、避難訓練での活用なども含め、実運用に向け各自治体への積極的な情報共有や働きかけを行う。さらに民放連の研究会や独立局放送協議会の研究会などで本実証を発表し、積極的な情報提供を行い、他の自治体と連携する放送局の支援を行っていく。

<システムの全体イメージ>

